

完了報告書（平成 22 年度）

提出者 朴沙羅

提出年月日 2011 年 3 月 31 日

【プロジェクト名】

和文 戦後東アジアにおける国境管理体制の成立と親密圏の変容

英文 The Change of Intimate Spheres in Post-war East Asia—in Relation with the Border Control Systems

【メンバー構成】

研究代表者 朴沙羅

幹事

メンバー

【ねらいと目的】（600 字程度）

本研究は戦後東アジアの「密航」「密貿易」の実証的研究を通して、国家によるアイデンティティと親密圏の管理過程を明らかにするものである。

日本の敗戦に伴い、膨大な数の人口が旧日本帝国領内を移動した。このような移住過程において、多くの親族集団が離れ離れになり、あるいは親族集団を頼って多くの人びとが移動した。しかし、この戦後期における移住行動は、その多くが「不法」に行われたために、実態は未だに明らかにされていない。

本研究は、この多様な人流を国家による親密圏の管理という視点から分析する。まず、調査対象は在日朝鮮人の「不法入国者」、「密貿易」に関わった本州・沖縄・奄美地域の漁民たち、そして彼らを管理した日本・アメリカ合衆国・大韓民国という 3 カ国の軍隊・政府作成の文献資料である。具体的には、1945 年から朝鮮戦争終了前後の時期にかけて日本へ「密航」し、あるいは日本周辺で「密貿易」に携わっていた人々を対象にインタビュー調査を行う。次に、収集された証言を日・韓・米の 3 カ国から収集した文献資料と照らし合わせることによって、未だ明らかにされていない「密航」「密貿易」の実態を解明する。

戦後に日本周辺で行われた「密航」「密貿易」は旧日本帝国の統治や冷戦を背景として生まれ、親族や村といった既存のネットワークが利用される一方、「密航」「密貿易」によって地域間の紐帯が活性化されたり新たに構築されたりした。このような親密圏・公共圏の変容と、管理と戦術のダイナミクスを分析することが課題となる。

【活動の記録】

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等

調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等

その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

《調査活動》

①日時：2010年5月13日・20日、6月3日・10日

場所：デイサービスセンターさらんぼん（大阪府東大阪市岸田堂南町4-19）

目的：「密航」経験に関するインタビュー調査のため

②日時：2010年7月20日-2011年1月10日

場所：オーストラリア国立大学（キャンベラ）・オーストラリア戦争記念館（キャンベラ）

National Archives of Australia (Sydney, Canberra, Melbourne)・

目的：連合軍関連文献收拾のため

③日時：2011年1月17日-31日

場所：国立国会図書館（東京都千代田区）

目的：連合軍および都道府県警察関連文献收拾のため

《報告活動》

1. 関西社会学会大会

日時：2010年5月29日・30日

場所：名古屋市立大学

報告題目：もうひとつの在日朝鮮人形成史—戦後の「密航」「密貿易」を対象として—

2. International Sociological Association World Congress: Sociology on the Move

日時：2010年7月10-17日

場所：スウェーデン・イエーテボリ大学人文学部

報告題目：Beyond Borders: Border control in East Asia, from biographies of Korean “illegal entrants”

3. Joint Seminar Series in History, Literature, Religion and Philosophy

日時：2010年11月16日

場所：オーストラリア国立大学アジア太平洋研究科セミナー室A

報告題目：The Smuggling Ring: history of “illegal entrants” in early postwar Japan,

【成果の概要】（800 字程度）

申請者は、4月から6月まで大阪府内のダイケアセンターにおいて、かつて「密入国」を経験した15名の方にインタビューを行い、その結果を5月末の関西社会学会大会において発表した。その後、発表原稿を手直しし、ルビをふった状態でダイケアセンターに提出し、調査結果を還元しようと試みた。

また、7月から1月にわたってオーストラリアで文献調査を行い、オーストラリア国立文書館・オーストラリア戦争記念館・オーストラリア国立大学図書館において当該テーマに関連する資料を閲覧・複写した。資料には英連邦軍の作成した不法入国者の詳細な名簿や、1946年から52年まで月ごとに作成された報告書、連合軍最高司令部からの命令書などが含まれる。中でも、不法入国者の名簿には入国理由や手段、出身地などが書かれていたため、どのような人々が、なぜ、どうやって日本に入国しようとしたのかということの一端を明らかにするのに役立つ。また、連合軍最高司令部からの命令書や会議録などによって、連合軍がこれら不法入国者たちをどのような文脈で管理しようとしていたのかということがうかがわれた。

文献調査と平行して、当時占領軍として日本に駐留していたオーストラリア軍兵士2名（メルボルン在住・85歳男性、当時は日本語の通訳として連合軍に参加）に直接のインタビューを、またブリズベン在住の男性（83歳、同じく通訳として連合軍に参加）にも電話でインタビューを行った。インタビューでは、実際の取調べの流れや取調べの際に重要視したこと、連合軍にとって不法入国の何が問題だったのかという点などについて具体的なお話をうかがうことができた。

【通信欄】

調査対象者のプライバシー保護のため、成果報告書の公開を許諾できませんので、ご了承ください。

（研究代表者記入）

プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 次世代	<input type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	250（千円）	実績額 250（千円）

様式 2

最終成果報告書（ワーキングペーパー）のホームページ公開に関する許諾書

研究成果タイトル

戦後東アジアにおける国境管理体制の成立と親密圏の変容

グローバル COE プログラム「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」に提出する上記の最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）の PDF ファイルを同プログラムのホームページに公開することについて、下記のように返答します。

2011 年 3 月 31 日

最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）

の執筆者全員のお名前（自署捺印）

記

- 許諾する。
- 部分的に許諾する。
許諾する部分を具体的にご記入ください。
- 下記の理由により許諾しない。
 - 調査対象者の個人情報保護のため
 - その他（具体的に理由をご記入ください）